

# 子ども図書研究室だより

## 「子どもと科学絵本」 講座報告

5月18日(水)と21日(土)の両日、三島市立図書館において子ども図書研究室講座を開催しました。「子どもと科学絵本 - 伝えて! 科学絵本の楽しさを - 」と題し、講師には科学読み物研究者であり、日本子どもの本研究会会員の沼知方子(ぬまちまさこ)氏をお迎えしました。

沼知氏は、現在の科学絵本の状況について、「科学の本というのは知識の本であり理科の本であるというイメージから変化してきた。今までおろそかにされてきた子どもの視点を尊重し、おもしろくてひきつけられる自然の仕組みを楽しく伝えるようになった。そして、近年、読み聞かせが盛んになったおかげで、出版社も、ますます読んで楽しい科学の本を出版するようになってきた。」と語り、また、現代の子どもたちが置かれた状況についても、「科学技術の発達のプロセス面は認めながらも、マイナス面をとらえる必要がある。子どもは、生きながら、自然に触れながら、自分の考えや生き方やものの見方をどんどん広げていく。自然の中でしか育めない子どもの五感が今失われつつあるのではないか。」と語られました。

その上で、「子どもにとって本とは、大人から手渡される文化である。自分は何を一番大事にして今まで生きてきたのかという問いかけが自分の中にあってはじめて、子どもたちをこんな本と出会わせたいという思いが出てくる。読み聞かせのための本の選書に当たっては、どうしても自分の中にある生活の体系を踏まえた本選びが主流になるが、まず自らの視野を広げることが、手渡す文化の幅を広げることにつながる。また、手渡す本の著者の考えや視点をきちんと見極めることが必要である。この考え方はいいなと思う本があれば、その著者の本を追いかけてみるとよい。」とアドバイスをされました。

中でも「子どもはまだ出会っていないのです。その出会っていないものに出会わせてあげてください。」とおっしゃったことが大変印象的でした。

講義では、新旧取り混ぜてたくさんの科学絵本を、読み聞かせを交えて丁寧に紹介しながら、人間の体の不思議さ、命の意味とかけがえのなさ、動植物の生きる姿の巧みさ、自然の大きさとそれに対する驚き等について、次々と熱心に語られました。

講義終了後には、工作遊び、科学遊びを楽しみました。簡単で楽しい工作に、受講生全員が和気あいあいと取り組みました。「不思議なサイコロ」「かっこう笛」「鳴くコップ」「不思議な色水」の4つをそれぞれお土産に持ち帰りました。

終了後のアンケートでも、「2時間があっという間だった」「科学絵本の楽しさがよく分かった」「読み聞かせの参考になった」等の感想と講師への感謝のメッセージが多く寄せられました。(鈴木 由美)

2005.6.10 発行 NO.15

静岡県立中央図書館

<http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/>

## 「飛ぶ教室」復刊特別号 春

2005年3月の「子ども図書研究室だよりNO.12」で紹介した「飛ぶ教室」が、1995年の休刊以来、10年の時を経て復刊されました。

復刊特別号には現在、絵本や児童文学書・一般書の場で活躍されている大勢の作家の方々が、原稿を寄せています。目次に沿って一部を紹介しますと、詩はまどみちお氏の作品を含めて5作。創作は江國香織氏の作品など、小さな子どもからいわゆるヤングアダルト世代を対象としたものまで9作。河合隼雄氏と「おこちゃん」の山本容子氏との対談が掲載され、長谷川義史氏によるマンガへと続きます。あさのあつこ氏らによるエッセイが5作。その他にも評論や作家カタログ、児童文学ニュースなど読み応えのあるものが135ページにわたりぎっしりと詰まっています。

そして、復刊特別号の最後には今江祥智氏と長新太氏の作品「いつだって長さんがいて」が掲載されています。長く一緒にお仕事をされてきたお二方によるこの作品は、「あっ、この絵、あの絵本の1ページだ。」「これもどこかで見たぞ。」と思い出される長さんの絵でいっぱい。今江氏曰く、長さんの「小画集」または「風がわりな絵本のつもりのもの」だそうです。(「前口上」より)

今江祥智氏が「飛ぶ教室」の復刊を熱く語られた雨水の日から5ヶ月。この雑誌には作家の方々、編集の方々、復刊を待ちわびていた読者の思いも作品と共に詰まっているように思われます。

次号は7月25日に発行される予定とのことです。

(中村 都美)

### 「子ども図書研究室」で今、展示しています。

長田弘氏が翻訳された本(6/20まで展示)4月23日(土)に当館にて、講演されました。(講演要旨は「子ども図書研究室だより」NO.14に掲載)

沼知方子氏が左記の講座で紹介された本  
第51回青少年読書感想文全国コンクール  
課題図書の本

「自由読書の部」「課題読書の部」と募集があります。詳しくは、全国学校図書館協議会のホームページを御参照ください。

### 〈 講演会のおしらせ 〉

清水興津図書館にて、講演会があります  
講師：斎藤敦夫氏「子どもの成長と絵本」

日時：2005年6月26日(日)13:30~15:30

会場：清水興津公民館 多目的ホール

主催・問い合わせ先：清水興津図書館

電話 0543-60-4311